

ブーストが安定しない

燃費が極端に悪くなった

黒煙が出る

アイドリング不良

加速が悪い

ECUはエアフロに吸い込む空気量に対して燃料を噴射させるので、パイプ途中で空気が抜けてしまいますと燃料が濃くなり（リッチ状態）左記の不調症状が出てきます。当社エアプレッシャーリークテスターでの圧力検査は、ホースの破れ、インタークーラーの破損やパイプ抜けしやすい車両の発見もしやすいため、早期対応もでき事前に車両のトラブル回避が可能となります。

※微量のエア漏れなど発見しにくいものは石鹼水を使用していただくと発見しやすくなります。

エアプレッシャーリークテスター 使用方法

①エアフロメーターを取り外し



②サクションパイプの径にあわせてエアプレッシャーリークテスターを取り付けます。

※サクションパイプがノーマルゴム製の場合はターボパイプから使用してください。

※パイプ径に合わない場合市販の異形ホースをご使用ください。



③ホースバンドで閉めてください。



④エアーゲージにて1kgのエアーを注入してください。

※入れすぎに注意してください。入れすぎた場合レベルゲージ、オイルシール等が抜けてしまい車両破損の恐れがあります。



⑤エアーゲージにて圧を確認。減ってくるようであれば、漏れている場所を直してください。

※ホースの破れ、パイプの破損、インタークーラーコアの破損があれば修理交換してください。

※再度確認後漏れがないようであれば作業終了です。漏れがなく調子が悪い場合は、エアフロメーターの点検をしてみてください。

（点検方法は各メーカーの点検方法で確認してください。）

※取り外したエアフロメーターは、ブレーキクリーナー等で洗浄することをお勧めします。

●本製品について何かご不明な点がございましたら弊社までご連絡ください。●本製品は予告なく改良する場合がありますのでご了承ください。●本製品は初期不良以外の保証はありませんのでご了承ください。●本製品を誤った使用方法で使用し車両などに破損があった場合当社では一切の保証はできませんのでご了承ください。●本製品を使用中に怪我などした場合弊社では一切保証はできませんのでご了承ください。●本製品、消耗品については購入時点で発見された、その製品の使用を妨げる製品の瑕疵に対してのみ保証対象とします。使用上の過程で消費または損傷することが当然として予想される消耗については保証の範囲としません。

TOTAL TUNING CAR SHOP
GaRage Mak

有限会社ガレージマック TEL.026-254-7333 FAX.026-254-7334
381-2241 長野市青木島町青木島乙276 mail:garagemak@ams.odn.ne.jp
www.garagemak.com